

出品番号 36 作家名 矢花 俊樹（金工家、元埼玉県立近代美術館エディター）

作品タイトル 《85 children》

実施年 2018年

プロジェクト

蕨市立北小学校の6年生が、友達の顔をトレースして描きあげた肖像画85点を用いたインスタレーション。肖像画に囲まれた空間に佇むことで、子ども達85名に見つめられた状態を体感できる。癒されるも、恐怖におののくも、あなた次第です。

ワークショップ「お顔をトレース★肖像画」

宝船展2018 会場にて、ワークショップを行った。

参加者：16名



①ラミネートフィルムを顔に当てて、油性マジックでお顔をトレースします。描く方も描かれる方も、思わず笑ってしまいます。



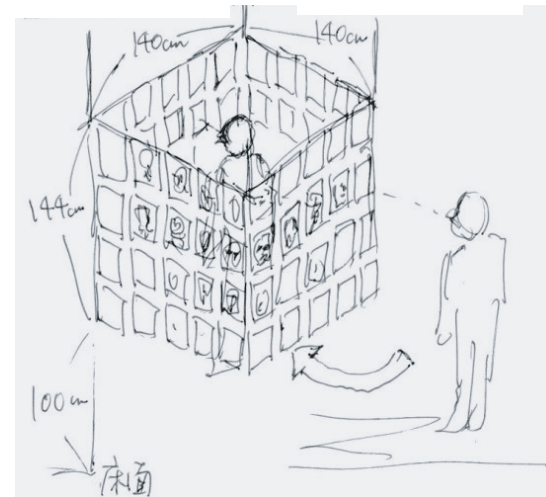
②交代して、お顔をトレースします。瞳をトレースされる時は、ドキドキ鼓動が高鳴ります！信頼関係がないとできません！



③ラミネートフィルムの内側にクレパスで色を塗ります。相手の性格や人柄を色で表します。肌色は塗らないこと。これがアートです！



④ラミネーターに通すと完成です！完成した肖像画は、プレゼントし合います。切り抜いてお面にすると相手に大変身することもできます。



《85 children》

コメント

こんなふざけた描き方ですが、トレースしているので意外と似るから面白い。ラミネートフィルム越しに相手を見つめた後は、心のフィルムで相手を見つめ、色で表現します。大切な人との心をつなぎ、一層距離を縮める、ペア参加型のワークショップです！

出品番号 37 作家名 矢花 俊樹（金工家、元埼玉県立近代美術館エディター）

作品タイトル 《旅に誘う虫たち》

実施年 2010年～

プロジェクト

人生を懸けて、リアルな虫を作り続けること。。。

あの日、あの場所で出会った虫・・・
記憶の中の虫たちが、
あなたを、あの日、あの場所へと導いてくれます。
さあ、虫たちと一緒に、時空を越えた旅に出よう！
サウダージ



- カナブン（2010）
 - ゴマダラカミキリ（2010）
 - オニヤンマ（2011）
 - ショウリョウバッタ（2014）
 - イナゴ（2014）
 - ヒゲコガネ（2016）
 - ルリオサムシ「父に捧ぐ」（2017）
 - オオスズメバチ（2012）
 - ハラビロカマキリ（2015）
- 技法：彫金
素材：silver 950
サイズ：生体昆虫と同じ



制作について

銀の板材をローラーで加工部位に適した厚さに延ばす。糸鋸で切断し、鑿で彫ったり、打ち出したりしたパーツをロウ付けにより接合する。精密ヤスリで擦り出すパーツもある。（触角、脚は無垢）

胴体は全て中空となっている。この内包した空間が、時空を越えた“あの日、あの場所”へと繋がっていると考える。

